

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社)青森県畜産協会

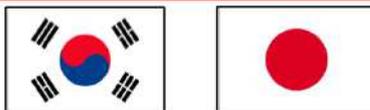
0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)

韓国で口蹄疫が継続的に発生！

韓国では昨年7月に3年3か月ぶりに口蹄疫の発生が確認されて以降、発生が拡大しています。さらに、他の東アジア諸国でも発生が続いていることから、我が国へ侵入する可能性は極めて高い状況が続いています。

今一度、本病の発生予防対策の徹底を図りましょう！！

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています！



2000年 → 2000年

2002年

2010年
2011年 → 2010年

2014年
2015年 →

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況
(2014年7月23日～、0型)

発生確認件数: 190 件
(牛 5 件、豚 185 件)

仁川広域市
(豚2件)

京畿道
(牛3件、豚53件)

忠清南道
(牛1件、豚69件)

世宗特別自治市
(豚2件)

全羅北道(豚 2 件)
2016年1月11日・13日

●: 発生地(2014年7～8月)
●: 発生地(2014年12月～)

江原道
(豚11件)

忠清北道
(牛1件、豚35件)

慶尚北道
(豚10件*)
*うち2件は2014年7月の発生

大邱広域市

蔚山広域市

釜山広域市

慶尚南道
(豚1件)

2016年1月18日現在、農林水産省 HP より

◎農場への口蹄疫侵入防止対策

- ・発生国への不要不急の渡航は自粛する
- ・農場の管理区域内に海外から帰国した人を入れず、おみやげなどの物を持ち込まない
- ・長靴や作業着、飼養管理器材の洗浄・消毒、訪問者記録など飼養衛生管理基準の遵守を徹底する
- ・本病を疑う症状がみられたら、家畜保健衛生所に速やかに連絡する

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所

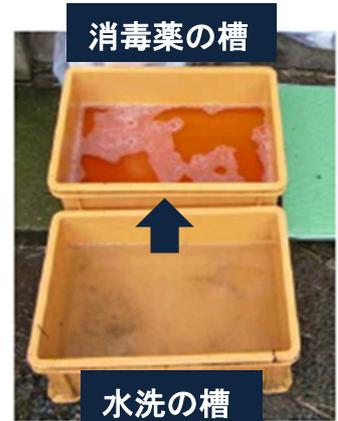
平日: 0176-23-6235 夜間・休日: 090-6453-7023

ホームページアドレス: <http://www.applenet.jp/~towada-kaho/>

効果的な消毒をしましょう！

◎ 効果的な消毒のポイント

- 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れてしまうことから、まずは汚れを落としてから消毒すること。また、消毒薬が汚れていることに気づいたら、直ちに交換すること。
- 農場に出入する車両の消毒では、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分や運転席の足元スペースも可能な限り消毒すること。
- 農場出入口には消石灰(アルカリ性)を散布しましょう。



推奨される
消毒槽の設置方法

《口蹄疫に有効な主な消毒薬》

分類	主な製剤名	(PH)	効果が認められた最高希釈倍数
ヨウ素系消毒薬	クリンナップA	(酸性)	400
	リンドレス	(酸性)	1000
塩素系消毒薬	アンテックビルコンS	(酸性)	1000
	クレンテ	(酸性)	2000
	市販のハイター類	(酸性)	100
	スミクロール	(酸性)	1000
アルデヒド系	グルタクリーン	(アルカリ性)	800
その他	酢	(酸性)	1000~100
	クエン酸	(酸性)	500
	炭酸ソーダ	(アルカリ性)	25
	クリアキル 100 (0.1%苛性ソーダ添加)	(アルカリ性)	2000

《要注意》

- ★ 消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！
- ★ 逆性石鹼だけでは口蹄疫への消毒効果は期待できません。
- ★ 冬季には消毒薬の効果が低下するので、繰り返し消毒を！
- ★ 消毒薬を使用する時には、手袋、マスクを着用し、眼、口、皮膚についたら、すぐに水洗しましょう！

